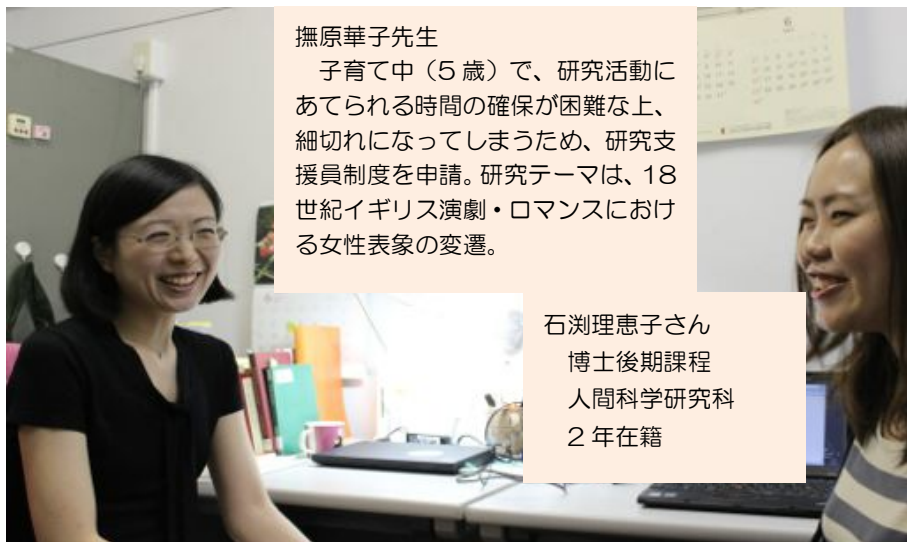


《特集 1》研究支援員って、どんな仕事？

研究者の育児・介護に携わる期間、研究を支援するため、《女性研究者研究支援員制度》がスタートしました。前期は本学 6 名の研究者がこの制度に申請し、6 名の研究支援員が活動を開始しました。実際に本制度を利用している撫原華子先生（特任研究員）と研究支援員の石渕理恵子さんにお話を伺ってみました。



撫原華子先生

子育て中（5 歳）で、研究活動にあてられる時間の確保が困難な上、細切れになってしまうため、研究支援員制度を申請。研究テーマは、18 世紀イギリス演劇・ロマンスにおける女性表象の変遷。

石渕理恵子さん
博士後期課程
人間科学研究科
2 年在籍

業務内容：18 世紀ロンドンにおける演劇上演についての文献から、1 行ずつキーワードをピックアップし、Excel でデータを作成。対象の文献は全 11 冊で、石渕さんはそのうち 1 冊の文献を担当。



Q 週 2 日、計 3 時間（1.5 時間×2 回）、勤務時間等は適当ですか？

☆石渕さん「ちょうど良いと思います。授業との兼ね合いもうまくいっています。文献を読みながらの入力作業ですが、あっという間に時間が過ぎてしまいます。」

★撫原先生「ちょうど良いですね。集中してやらなければならない仕事で、長時間続けるタイプの仕事ではないので。石渕さんには、正確にきめ細かくやってもらっており、信頼できるデータを作ってもらっています。しっかりした、他の研究者にも役に立つデータベースになるとと思います」

Q 3 ヶ月経ちましたが、気づいたことや感想などありますか？

☆石渕さん「2 か月目くらいからペースがつかめるようになってきました。自分の研究ではほとんど Word を使用しており、Excel を使った業務は勉強になります。これから自分の研究をしていくうえでのデータベース作りにも役立ちそうです。また、他の TA の仕事とつながる部分があり、研究支援員の仕事をできるようになってから、体系的に考えられるようになってきました。」

★撫原先生「昨年夏は私自身がやっていました。一人でやるより、時には二人で話し合いながら進められるほうが、より良いと思います。業務が、二人の共通テーマであるイギリスの女性に焦点をあてたものであるのもいいですね。」



インタビューにご協力いただき、ありがとうございました！！

★Information！ 女性研究者研究支援員制度＜後期＞ 申請受付開始

詳細については女性研究者支援室ホームページ <http://www.sowr.jp> をごらん下さい。また不明な点、質問、相談等については、女性研究者支援室コーディネーター江頭（えとう）内線：2466 までご連絡下さい。

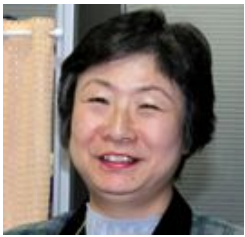
《特集2》「研究」って？ 「研究者」って・・・？

「研究」を仕事にするとはどういうことなのだろうか？

「研究者」は何を考え、何をしているのだろうか？という学生の疑問から女性研究者支援室では、大学・高校等の教育の場や企業での研究者など多種多様な場で活躍する先輩たちをホームページで紹介しています。インタビュアーは大学院生。これまでに5名の大学院生がインタビューから原稿の作成までを担当しました。今回は、今までに行われた10名の研究者へのインタビューのダイジェスト版をお送りします。



Vol.1 高橋尚子さん



國學院大學経済学部
教授/ナウハウス(有)
代表取締役

最初の職場は、大企業の女性 SE 第一号。その後2回の転職を経て、35歳で会社を立ち上げた。

様々な仕事に精力的に取り組む高橋さんは、その過程で得た『人との付き合い』を大切にしていた。それがきっかけとなり、2006年には國學院大學から専任教授のオファーがやって来たという…

Vol.2 野田夏子さん



芝浦工業大学
デザイン工学部ソフトウ
ェア研究室

修士課程修了後、企業に研究職として就職。念願の研究所に入ったが、企業の研究所は、ビジネスとして成り立つ事を前提に研究を進めなければならない。

ずっと研究したい事を続けていく為、母校の先生に相談。そして、非常勤講師としても働き始めた…

Vol.3 榎本裕子さん



芝浦工業大学
システム理工学部数
理科学科准教授

榎本先生は在学中、研究者として活躍されているOGの存在を知り、進路は企業に就職するだけでなく、色々な道があることを知り、研究職に関心を持ったという。

進学、研究者を目指す後輩たちへ、アドバイスを頂いた。「数学に興味があれば、どんどん取り組んでほしい。くじけずに地道に頑張ることが大切」…

Vol.4 仙石淳子さん



東京女子大学大学院理学
研究科研究員

数理学科在学中は特に化学の授業に関心を持ち、博士前期課程では化学を専攻。基礎から化学を勉強した。

しかしある本から脳に興味を抱いた事で、博士後期課程では研究テーマをがらりと変えた。

「今思えば無謀な決断だったと思うが、結果的には自分の気持ちに正直に行動してよかった」

Vol.5

石井志保子さん

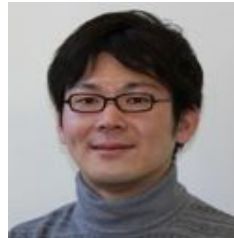


東京大学数理科学研
究科教授

幼い頃から数学者を目指していた石井先生。しかし学位取得後、なかなか研究者のポジションを獲得できないでいた。また、その頃の石井先生は子育ての真っ最中。研究の時間がなかなか取れず、時間がない！と焦る日々。そんな中、

「Later is better than nothing」遅くなくてもやめてしまうよりは良いと。そう自分に言い聞かせたという…

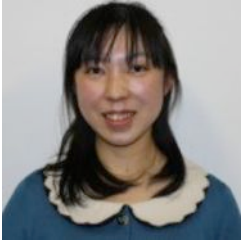

Vol.6 下澤昌史さん





ソフトウェア開発

修士課程を終え、ソフトウェア開発の企業に就職した下澤さん。ある研究者の知り合いから「社会人制度が整っている大学がある」と東京女子大学を紹介された。両立は難しいのではと考えたが、助けてくれる方が大勢いた事により、やってみようと思えたという。

「悩んでいるならやってみれば」と、メッセージを頂いた。

<p>Vol.7 松岡沙穂里さん</p>  <p>平塚学園高等学校 数学教諭</p>	<p>修士課程修了後、高等学校の教員になった松岡さん。その後、修士課程の指導教諭からの勧めにより、博士課程へ進学し、仕事をしながら研究も行うという選択をした。</p> <p>仕事、研究、結婚に加え習い事など、やりたいことはすべて実現させた。これからも、そのスタイルを貫くと語った…</p>	<p>Vol.8 堀裕子さん</p>  <p>東京女子大学 非常勤講師</p>	<p>堀先生に研究者への道を選んだ理由を伺った際、このような答えが返ってきた。</p> <p>「大学2年生の時に卒業後の進路について真剣に考えた結果、やっぱり私、本読みたい!と思った」</p> <p>その初心を貫き、現在では複数の大学で教鞭をとっている…</p>
--	--	---	---

<p>Vol.9 小谷幸さん</p>  <p>日本大学生産工学部 准教授</p>	<p>就職活動を通じて男女の不平等さに驚いたのがきっかけで、修士課程に進学。</p> <p>その後早稲田大学大学院博士課程に進学したが、「労働の事をやっているのに就職した事がないのはどうかな?」と考え、介護職の職能団体に4年勤務。</p> <p>現在は日本大学で教鞭をとっている小谷先生。今後は研究と実践の融合が大切だと語った…</p>	<p>Vol.10 清宮普美代さん</p>  <p>株式会社ラーニングデザインセンター代表取締役/NPO 法人日本アクションラーニング協会 代表</p>	<p>ジョージ・ワシントン大学大学院に進学した際、学生の学びに対する姿勢の違いを感じたという。</p> <p>アメリカの大学院生達は、社会を変えるべく、大学院で得た知識を積極的に活かそうとしている。</p> <p>これからの大学院生は、学習と実践をバランスよく発揮し、柔軟に対応していく事が大切だと語った…</p>
--	--	--	---

インタビュー記事の全文は、HPに掲載されています。内容を詳しく読みたい方は、インタビューページにアクセスしてください (<http://www.sowr.jp/interview/>)

これまでは、東京女子大学卒業生及び大学院の修了生を対象に行ってききましたが、今後は、東京女子大学の先生方にもインタビューを行っていきます。

研究者交流促進 Table Talk Vol.1～ Vol.4 開催

研究者・大学院生・研究職をめざす方の交流促進を目的として、Table Talk(茶話会)を開催しました。どの会も、お招きした方からは、研究と生活のバランス・これまでの職業と職場環境・働きながら学ぶという事・特任研究員について等、それぞれの個性あふれるお話を伺う事ができました。研究を目指す方や大学院生の今後を考える上で、とても参考になる、また楽しい茶話会となりました。

<p>Table Talk Vol.1 with 高橋尚子先生</p> <p>テーマ 無理をしない 二足のわらじの履き方</p>  <p>日時：4月25日 14:30～16:30 場所：女性研究者支援室 4号館2階4202号館</p>	<p>Table Talk Vol.2 with 窪田ひろみさん</p> <p>テーマ 研究者のライフワークバランス -答えは自分の中にある-</p>  <p>日時：6月12日(水) 15:00～16:25 場所：女性研究者支援室 4号館2階4202号室</p>	<p>Table Talk Vol.3 with 桑田真先生</p> <p>テーマ 新しい視点を持ち込む勇氣</p> <p>1 + 1 = ∞</p>  <p>日時：6月20日(木) 15:00～16:00 場所：女性研究者支援室 4号館2階4202号室</p>	<p>Table Talk Vol.4 with 菅 知絵美さん</p> <p>テーマ 旅するあなたと語る「幸せって何?」</p>  <p>日時：6月6日(木) 15:00～16:00 場所：女性研究者支援室 4号館2階4202号室</p>
---	--	---	---

啓発活動 レゴ・セミナーを開催



3月28日(木) 女性研究者研究活動支援事業の1つとして、レゴセミナーを開催しました。このセミナーでは、プログラミングロボット教材を使用するワークショップを通して、大学院生の伝える力・表現力といったコミュニケーション能力を高めるためのプログラムの有用性を検討しました。



研究者交流促進 Gボール セミナーを開催

5月22日(水) 東京女子大学 現代教養学部人間科学科 准教授の平工志穂先生を講師に迎え、Gボールセミナーを開催しました。日頃研究に追われ、運動不足な生活を送りがちな大学院生の健康維持・促進を目的として、Gボールの基礎的な使い方からストレッチ・筋トレ方法などを教えて頂きました。Gボールの講習会後には、談話会が行われ、研究以外の話にも花を咲かせました。



Topics 女性研究者支援室 library を開設

女性研究者支援室では、女性研究者のロールモデル集・理系研究者のキャリアに関する文献を中心に、研究テクニク・ジェンダー等の図書を取り揃えています。閲覧・貸出も可ですので幅広くご利用ください。
貸出期間は1ヶ月です。



- ★ 東京女子大学大学院修了生と大学院の将来像についての「アンケート調査」を実施。結果は随時、報告していく予定です。

Information ! ~今後開催予定のセミナー~

女性研究者キャリア形成セミナー

日時：7月18日(木)

13:15~14:45

場所：6号館 6215 教室

テーマ：数学の新たな挑戦&
東北大学における
女性研究者育成支援

講師：東北大学教授 小谷元子氏

公開インタビュー&Table Talk

日時：7月19日(金)

13:30~15:30

場所：女性研究者支援室
4号館 4202 号室

内容：湊先生(前学長)と
お茶を飲みながら対話を
楽しみましょう。

女性研究者キャリア形成セミナー

日時：10月5日(土)

13:00~17:00

場所：25号館 2F 視聴覚室

内容：「話し合い学」による
ワークショップの実践

講師：公立はこだて未来大学
准教授 大塚裕子氏

女性研究者支援室

【住所】〒167-8585 東京都杉並区善福寺 2-6-1

【TEL】03-5382-6173

【開室】(月)~(金) 10:00~17:00

【相談受付】(月)~(金) 13:00~18:00 (予約はメールでお願いします)

【場所】4号館 4202号室

【E-mail】sowr@lab.twcu.ac.jp